



2026年3月期第2四半期 決算説明会

2025年11月11日

COMSYS Holdings Corporation

目次

ハイライト

I. 2026年3月期第2四半期 決算総括

✓ 決算概況	… 4
✓ 受注高・売上高	… 5
✓ 営業利益・当期純利益	… 6
✓ 手持工事高	… 7
✓ 上期受注実績	… 8

II. 事業環境と事業戦略

✓ 通期業績見通し	… 10
✓ 通信キャリア事業	… 11
✓ 事業領域の更なる拡大に向けて	… 12
✓ ITソリューション事業	… 13
✓ ITカンパニーの強化施策	… 14
✓ SONYとの共同技術提案による受注獲得	… 15
✓ 社会システム関連事業	… 16
✓ データセンター事業への取り組み	… 17
✓ AI活用による社内DX推進	… 19
✓ サステナビリティに関する取り組み	… 20

III. 株主還元施策

✓ 株主還元と社員還元の実施	… 22
✓ 株主還元施策	… 23
✓ 【参考】配当金の推移	… 24

ハイライト

過去最高の
売上高
営業利益
当期純利益

対前期
増収(+2.3%)
増益(+9.7%)
※営業利益

外部機関による
ESG関連指数の
構成銘柄に選定

自己株取得枠
+ 20億円

自己株式消却
1,500万株
※2026年3月31日

I . 2026年3月期第2四半期 決算総括

決算概況

好調継続で 増収増益

- 過去最高の売上高、
営業利益、当期純利益
- 利益率も上昇
- 受注は前期大型案件の反動
減も、下期の回復を見込む

	2026.3期 上期実績	対前期	対前々期
(単位：億円)			
受注高	3,215	▲ 42	+200
売上高	2,703	+61	+254
営業利益 (営業利益率)	180 (6.7%)	+15 (+0.5p)	+38 (+0.9p)
当期純利益 (当期純利益率)	126 (4.7%)	+18 (+0.6p)	+31 (+0.8p)

受注高・売上高

受注高は前期反動減
売上高は
過去最高を実現

■ 通信キャリア事業

NTT事業が好調

■ ITソリューション事業

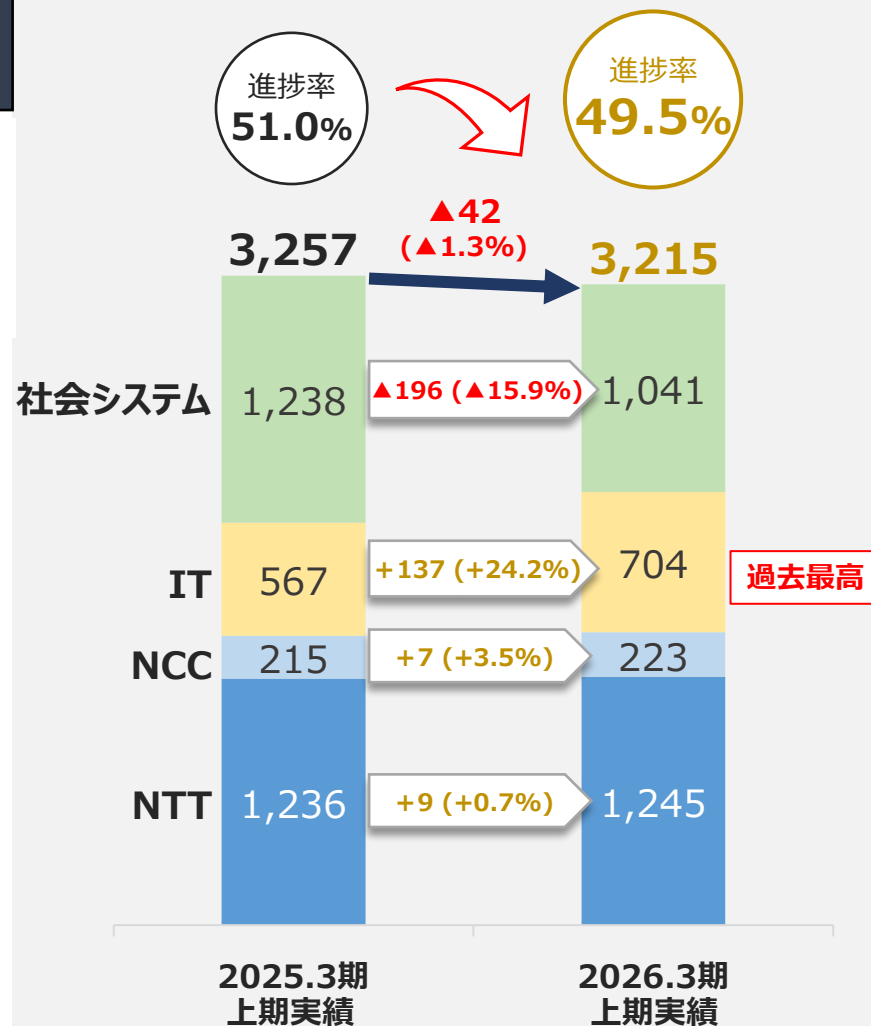
大型案件が受注・売上増に
貢献

■ 社会システム関連事業

受注・売上共に前期反動減
受注は下期の回復を見込む
売上は前期一過性要因を除
くと、実質増

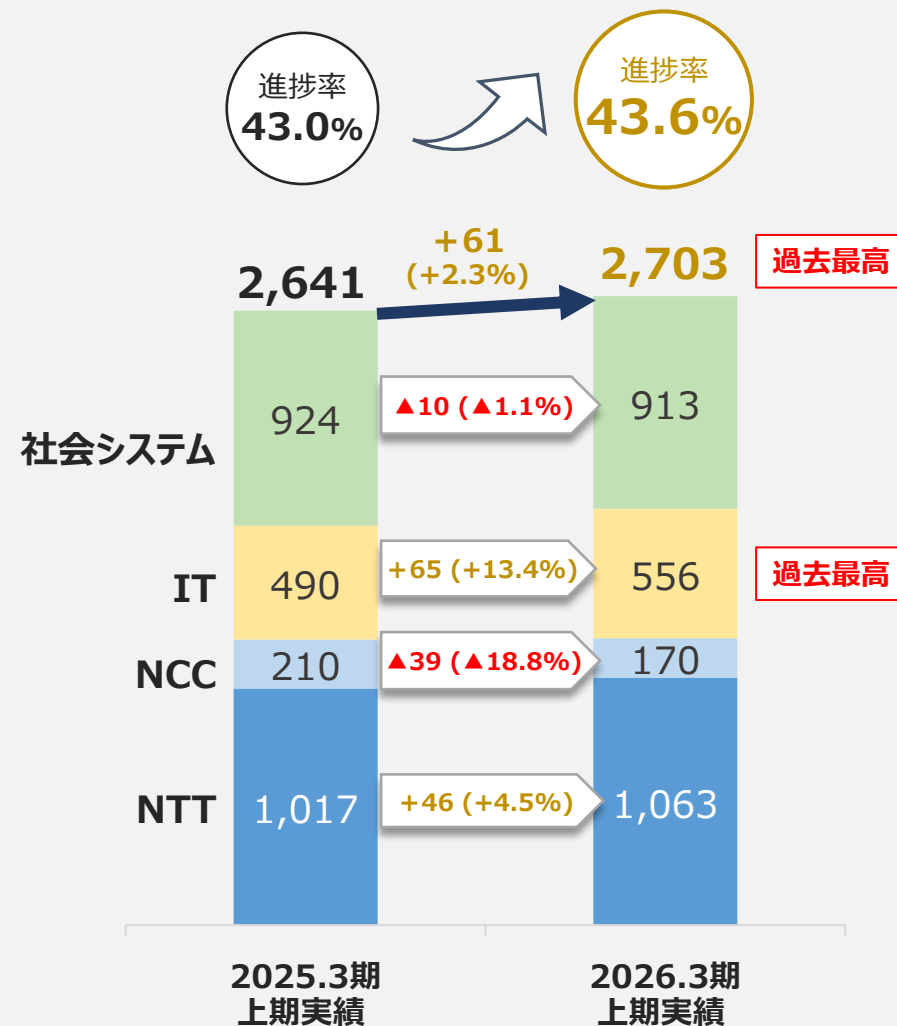
受注高

単位 [億円]



売上高

単位 [億円]



※シェアリング事業者からの受注高・売上高について、集計区分をNTT設備事業からNCC設備事業へ変更しております。本表では前期との比較をするために、前期実績値を変更後に補正して表示しています。

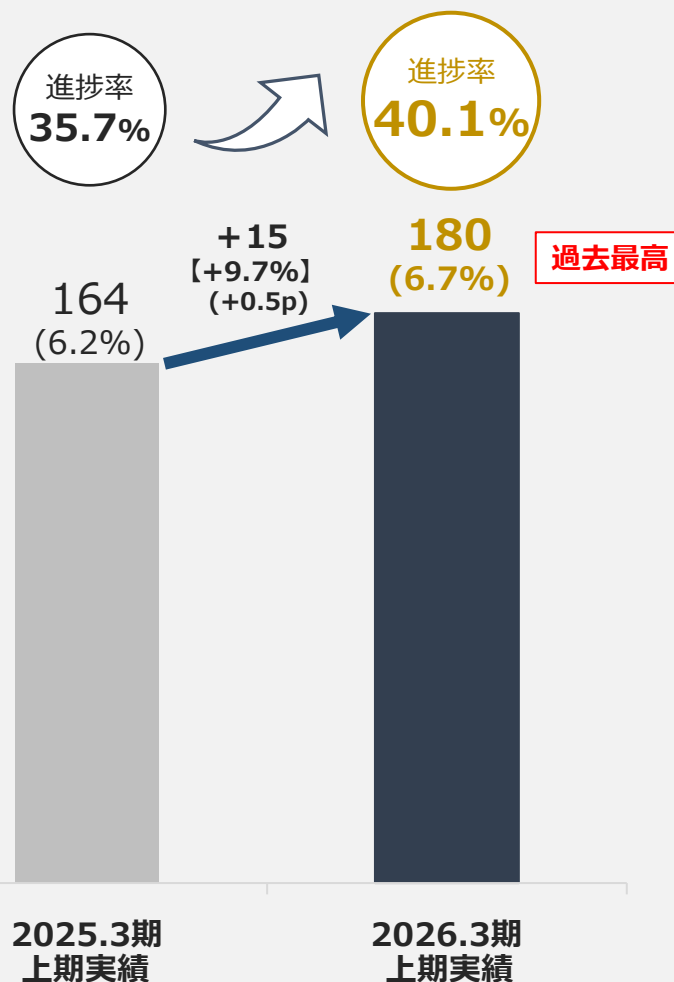
営業利益・ 当期純利益

実質的に 大幅な増益

- 売上増加に伴い増益
- NTT設備事業の効率的運用により利益が改善
- 前期の引当金戻入及び会計基準変更による一過性要因を除くと、営業利益は33億円の増

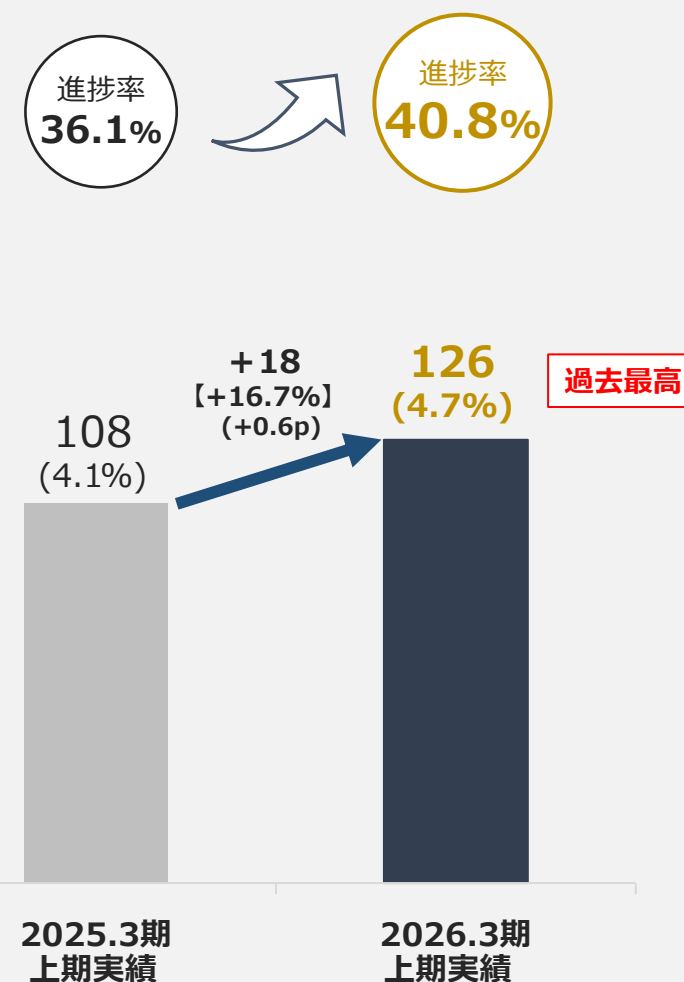
営業利益

単位 [億円]



当期純利益

単位 [億円]

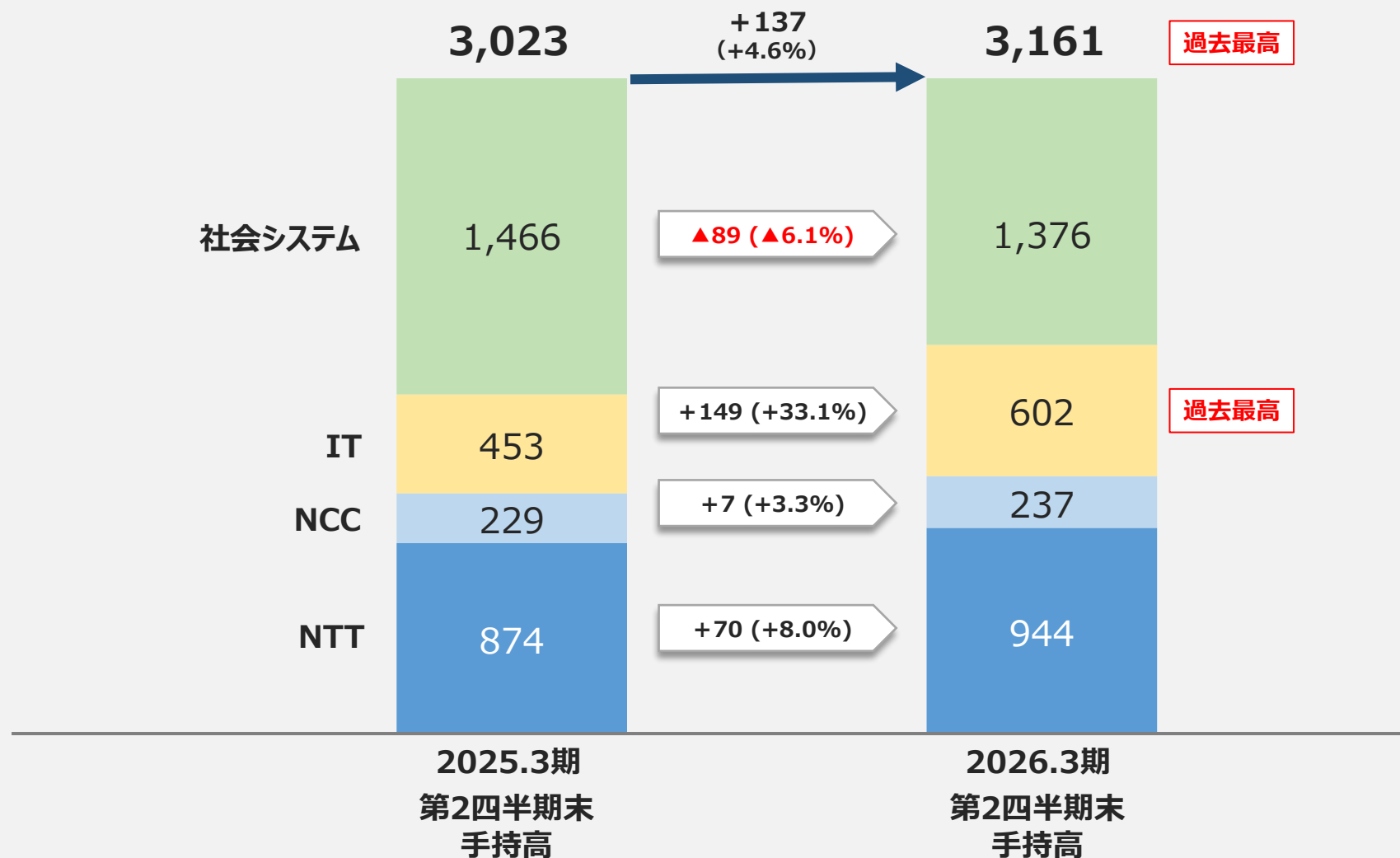


手持工事高

豊富な手持工事高が 安定的な 収益の確保に寄与

- 通期計画達成に向け
十分な手持工事高が
実現性を高める
- 来期以降の業績への貢献
も見込む

単位[億円]



上期受注実績 (主なもの)

多様な分野で
日本の情報通信・
電気インフラを構築

■ 通信キャリア（NTTドコモ） 通信品質改善工事



■ 通信キャリア（NTT東日本・西日本） 10ギガネットワークサービス関連工事



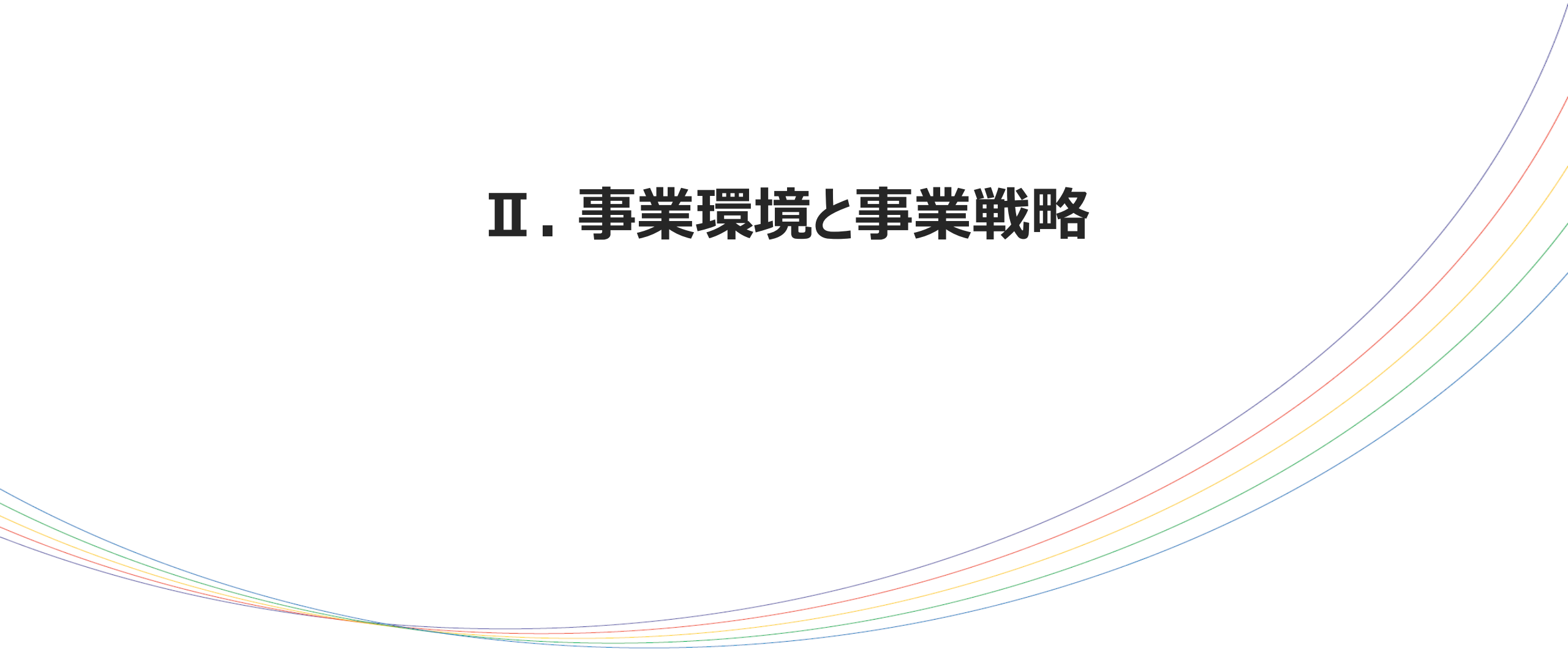
■ ハイパースケーラー データセンター電気設備工事



■ 公共系機関 大型演算システム構築案件



Ⅱ．事業環境と事業戦略



通期業績見通し

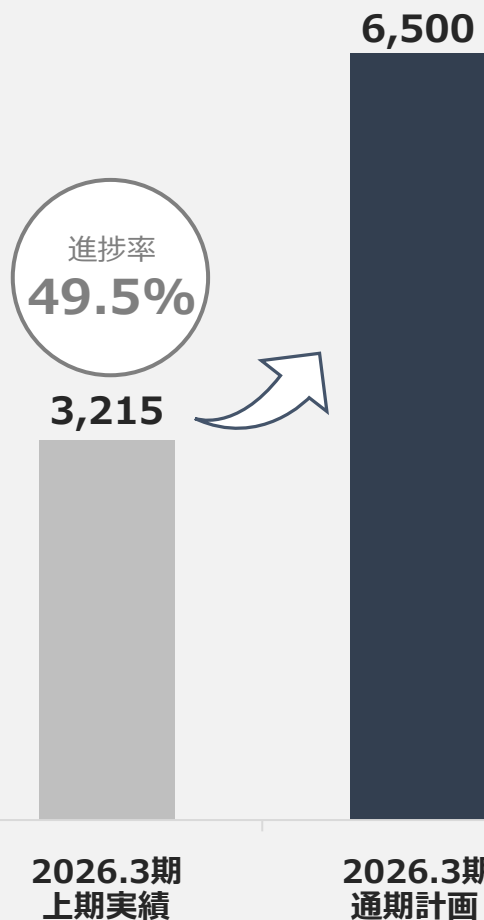
コムシスグループ2030ビジョン
初年度

計画達成を見込み さらなる増収増益を狙う

- 通期計画達成に向けた進捗は順調
- 受注については、下期、複数の大型案件を見込むことから、来期に向けても好調を維持

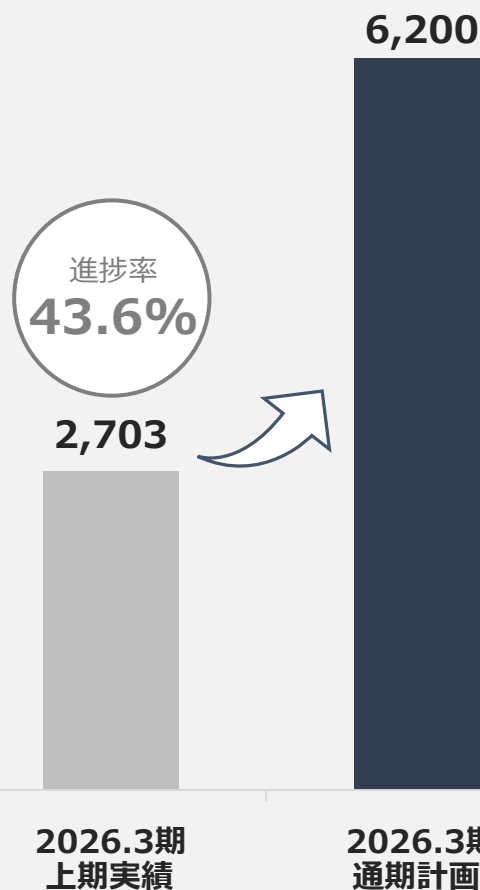
受注高

単位 [億円]



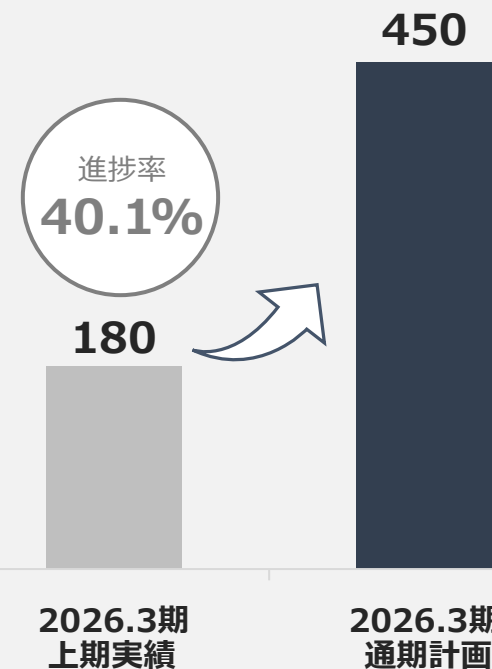
売上高

単位 [億円]



営業利益

単位 [億円]



通信キャリア事業

下期に向けてさらなる増収を見込む

- 10ギガネットワークサービスの需要が拡大
(NTTアクセス・ネットワーク)
- 来年度以降も通信品質改善工事は継続見込み
(NTTモバイル)
- データセンター関連案件への対応が増加 (NTT、NCC)

売上高

単位〔億円〕

2,830

進捗率
43.6%

NTT

工事の完成増に加え、
周辺ビジネスへのチャレンジにも取り組む

NCC

データセンター案件を積極的に獲得

1,233

NTT 1,063

NCC 170

2026.3期
上期実績

2,380

450

2026.3期
通期計画

通信キャリア事業 事業領域の 更なる拡大に向けて

通信キャリア事業体制 による領域拡大が 順調に進展

- 通信キャリア事業体制を
活用し、社会・IT事業領域
にも対応
- グループ内での要員流動を
活性化させ、リソースを
有効活用

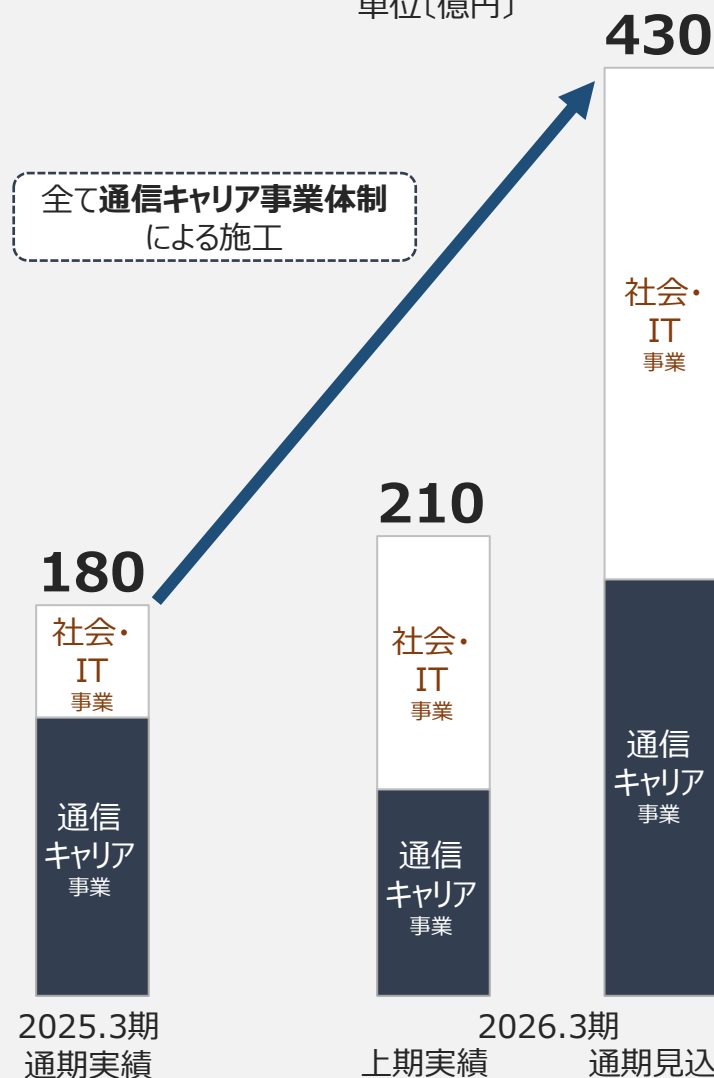
通信キャリア事業体制による施工領域拡大

社会・IT事業分野工事を通信キャリア事業体制にて対応

通信キャリア発注工事の領域拡大

「拡大領域」の受注高

単位〔億円〕



「拡大領域」
内容

主な取り組み施策

データ
センター
関 連

- ・ 対応拠点の新設
- ・ 迅速な社内共有による
先回りの事前検討

配 電

- ・ 高圧作業スキルの向上
- ・ 特殊車両・配電機材への
戦略的設備投資

モバイル
基地局
シェアリング

- ・ 契約の簡素化や工期短縮の提案
- ・ 事業立上げへ向け、
事業会社への社員出向

周辺
領域

- ・ NTTの優先課題に整合した
マンション光化提案の加速
- ・ 技術的親和性の高いLAN/WAN、
WiFi、監視カメラ案件の受注拡大
- ・ 全国案件へのアプローチ促進

ITソリューション事業

引き続き受注獲得と
年度内完成に注力

進捗率
42.8%



2026.3期
上期実績

売上高

単位〔億円〕

ソフト開発

お客様業務のDX化や官公庁システムの
大型モダナイズ等の着実な拡大

ソリューション

大型案件を着実に遂行、マネージドサー
ビスを拡大

保守

好調なソリューション事業との連携推進

1,300

360

784

156

2026.3期
通期計画

ITソリューション事業
ITカンパニーの
強化施策

ソフトウェア開発体制
の最適化

- 今後の市場拡大を想定し、
開発子会社をコムシス情報
システムグループに集約



コムシス情報システムグループ



2025年7月1日
ソフト開発機能の強化を
目指してグループ化



つうけんアドバンスシステムズ

- ・ ソフトウェア開発
- ・ ITインフラソリューション
- ・ マネージドサービス



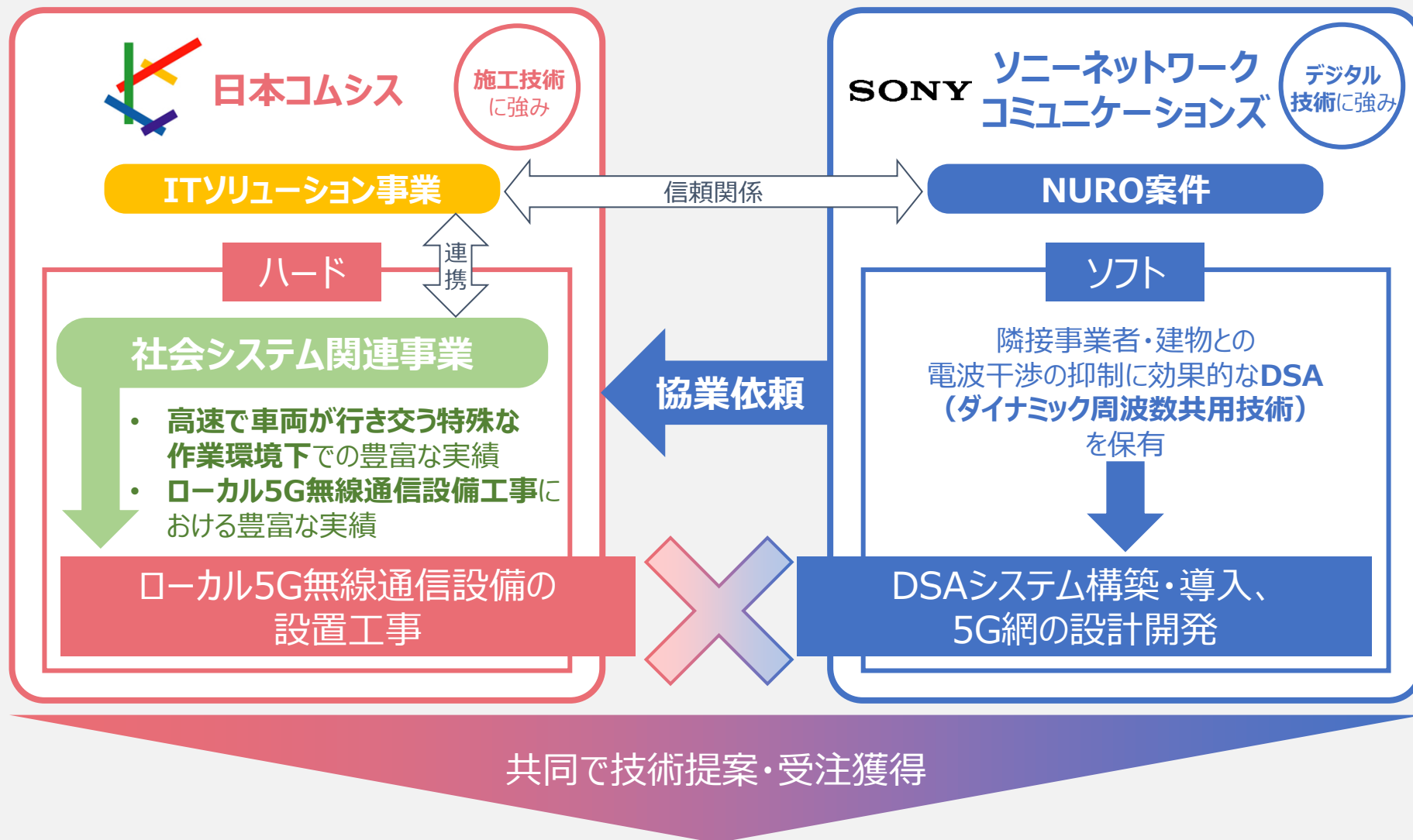
ヴァックスラボ

- ・ 受託開発
- ・ 技術支援 (SES)

ITソリューション事業
×
社会システム関連事業
**SONYとの共同技術
提案による受注獲得**

**ソフト技術を有するパートナーにハード技術を提供し
新たな価値を創造**

■ 既存案件での信頼関係により新たな領域での
協業依頼へと発展



首都高速道路における
初のローカル5G無線通信設備工事

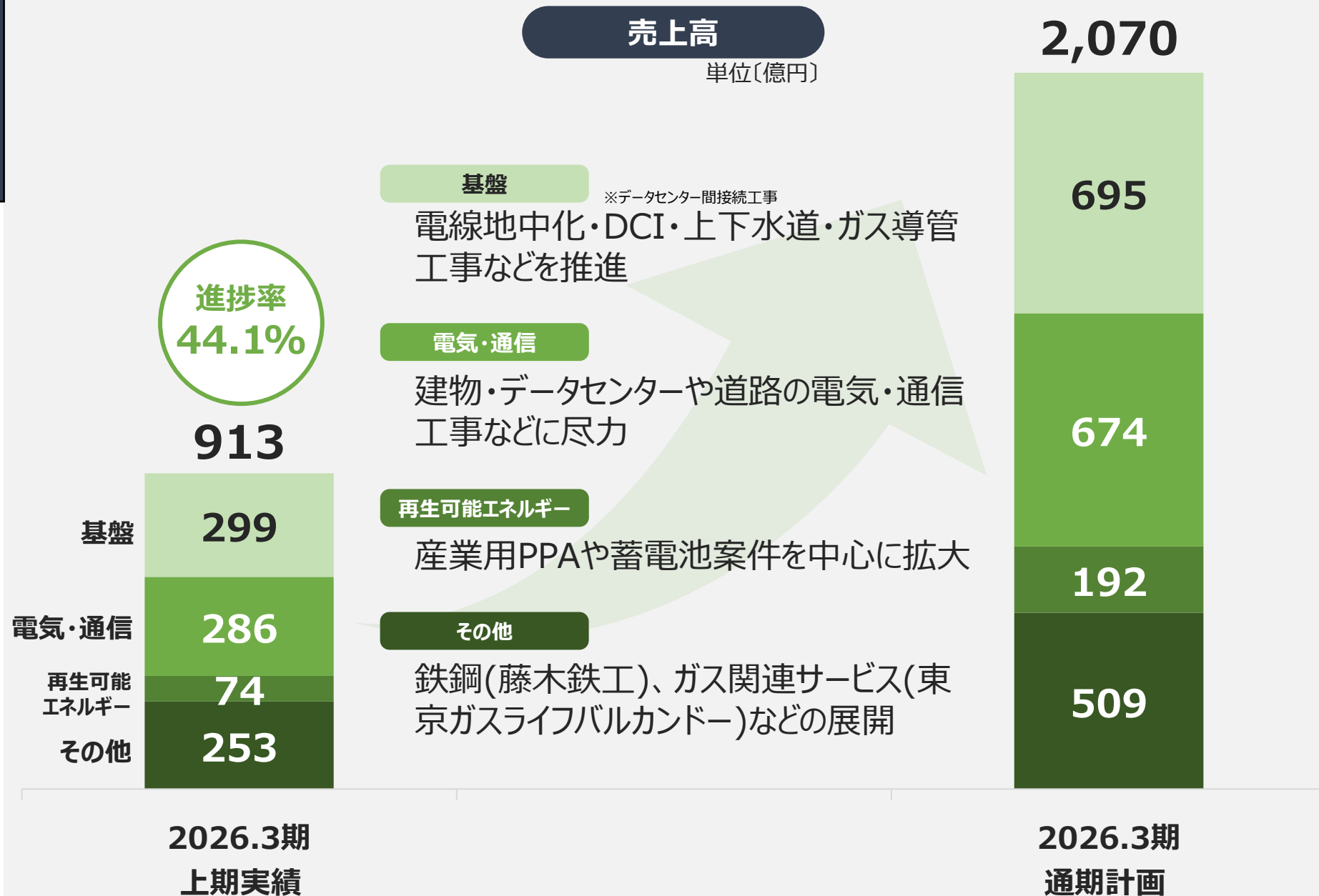
社会システム 関連事業

豊かな社会づくりに 引き続き貢献

- データセンター関連案件ではグループ会社からの要員流動を活用し、施工力の確保とノウハウの展開を推進
地方分散化への対応力を高める

※これまで「基盤・その他」として表示していましたが、分けて表示します。「その他」に含まれる主な内容は以下となります。

- ・藤木鉄工（鉄骨橋梁メーカー）
- ・東京ガスライフバルカンドー（ガス関連サービス提供）

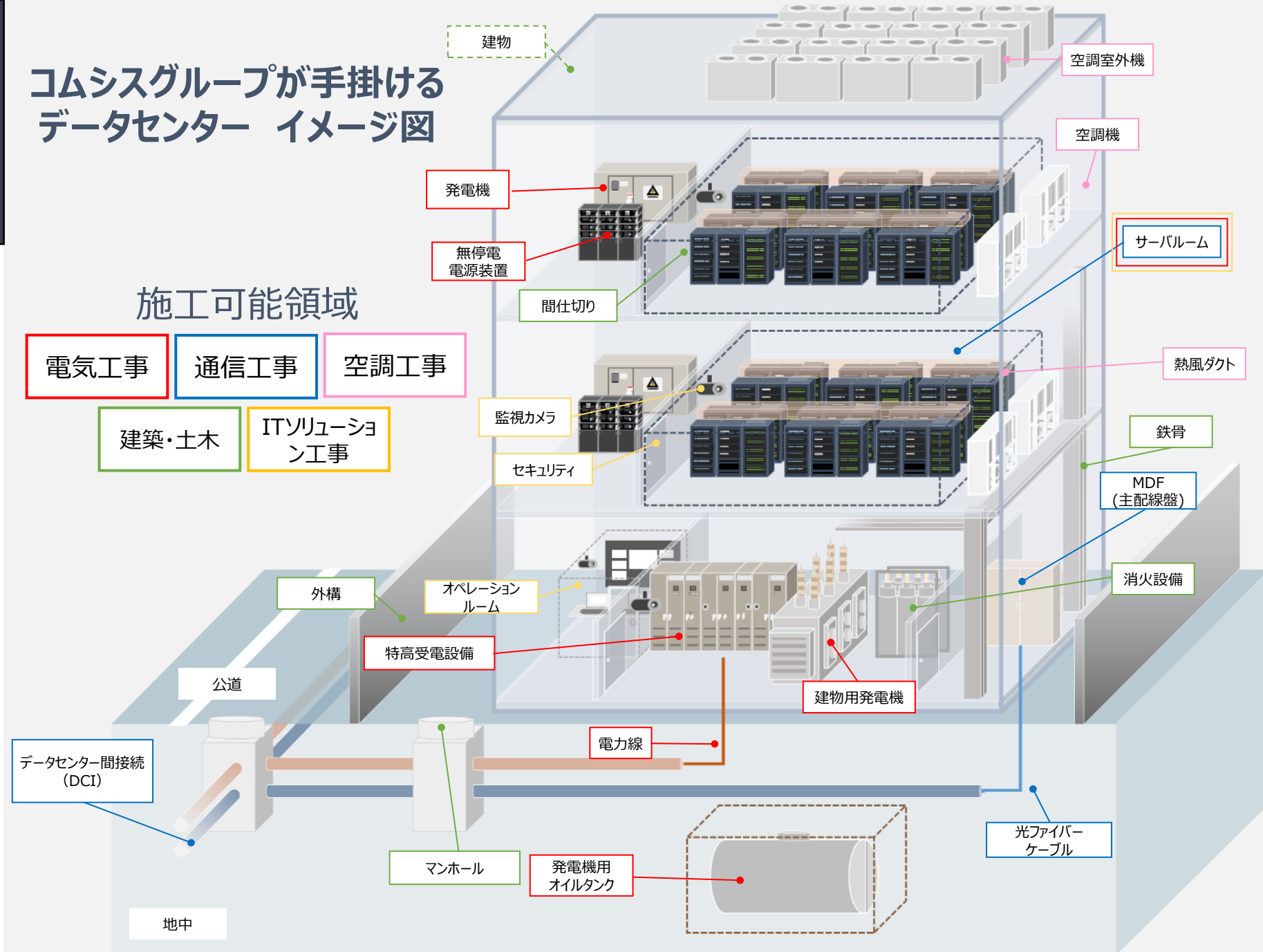


社会システム関連事業 データセンター 事業への取り組み

コムシスグループは 多様な工程に 対応可能

- 建物本体の建築以外の多様な工程を担う
- 建物建築用の鉄骨製造は藤木鉄工が手がける
- 設置場所の異なる複数のデータセンター間を通信インフラで結ぶ接続（DCI）の構築工事にも対応

コムシスグループが手掛ける データセンター イメージ図

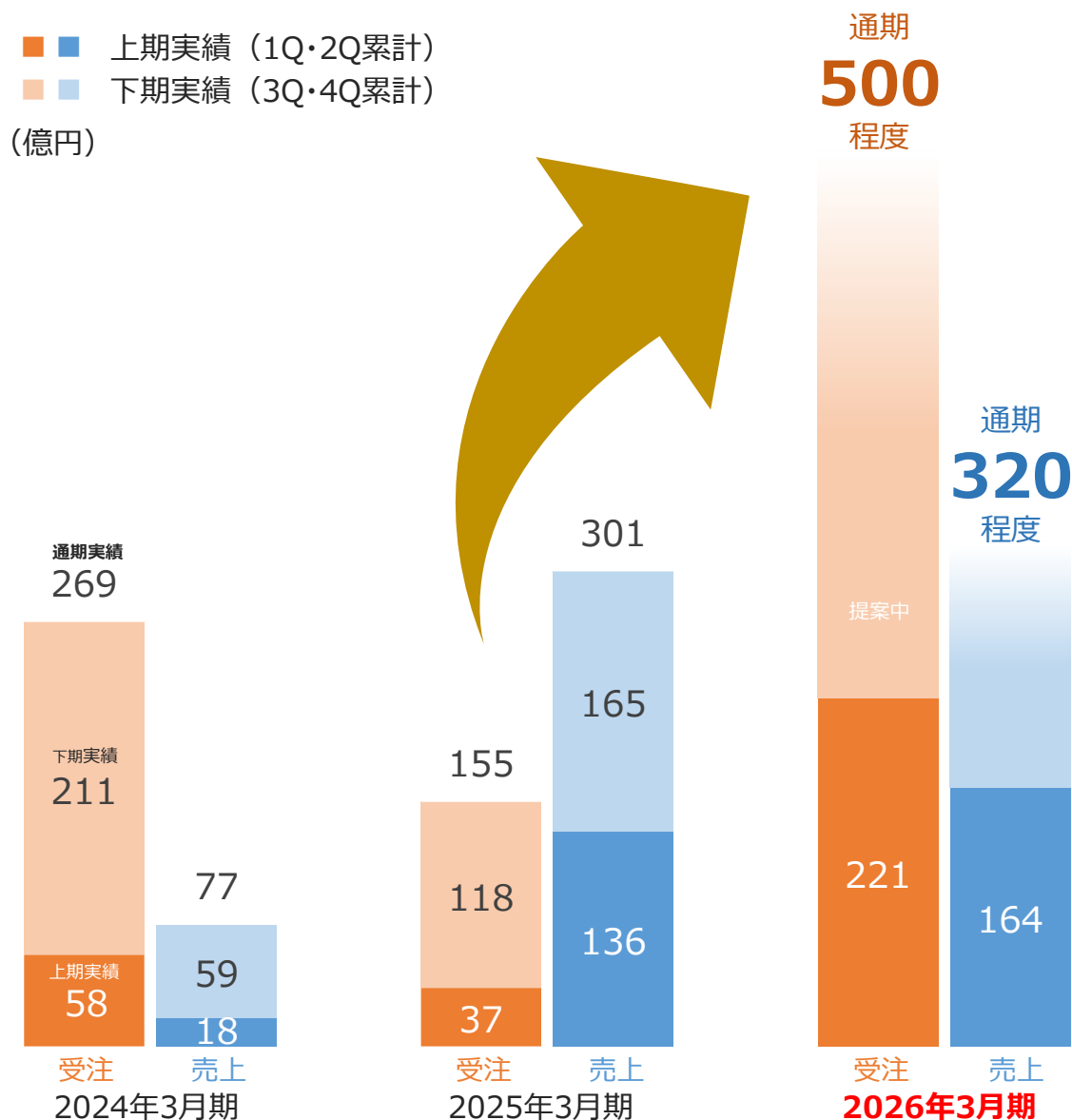


社会システム関連事業 データセンター 事業への取り組み

データセンター事業は 着実に成長

- 2026年3月期受注は
500億円程度を見込む
- データセンターの地域分散化
にも対応

データセンター事業 受注・売上の推移



※DC関連工事も含めているため、過去公表値からの変更が生じています

2026年2月、 長野市でコンテナ型 データセンターを開設

- ・ TOSYSグループがワンストップでトータルサポート
- ・ 地域への分散設置を担う次世代型データセンター
- ・ パッケージ化して全国への展開を推進中

設計・構築

- ・ お客様の要望に応じた自由設計型
- ・ CubePark内だけではなくお客様敷地内も設置可能

設備

- ・ 最新冷却方式（水冷・液浸）を採用するサーバ収容可能
- ・ 電力などエネルギーインフラへの影響も少ない

納期

- ・ 短期間で開設可能

Cube Park NAGANO イメージ図



AI活用による 社内DX推進

生成AIセンタの設置 によりグループ全体の 生成AI活用を推進

- 社内業務で検証・蓄積したDXノウハウを活かし、お客様のDX化支援を目指す

高度化

生成AIセンタ

現場実務へのAI導入支援や活用ノウハウの蓄積

日本コムシス



北陸電話工事

導入事例

大規模言語モデルの一般業務活用

生成AI利用率**76%**<日本コムシス>
※他社平均 40~50%

RAG（検索拡張生成機能）の作成・活用の推進

社内システムに関する問い合わせAIの導入により
問い合わせ件数**20%削減**

活用展望

2025年度

マルチモーダルAIの活用

- ・ 録音データからの議事録作成
- ・ 手書きドキュメントからの情報抽出

2026年度～

AIエージェントの導入

グループ会社
へ展開

社外の
お客様支援

サステナビリティに関する取り組み

ESG投資指数への採用拡大

- GPIF採用指数3つ目の選定を達成
- 引き続き気候変動対応をはじめとするサステナビリティ経営を一層推進

GPIF



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

2025年6月初選定

- FTSE Russellが開発しGPIFがESG投資の運用指標として採用
- 各業種において相対的に高ESG評価の日本企業で構成

継続して
採用されている
GPIF選定指数

2025 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数



大手ESG指数

2025



Sompo Sustainability Index

2025年7月初選定

- ESG評価と企業価値の両面から優れた約300社で構成
- 年金基金などの機関投資家による運用にも活用

Ⅲ. 株主還元施策



株主還元と 社員還元の実施

株主還元と社員還元の
両立により
企業価値向上の実現

株主還元

自己株式追加取得（20億円）

今後の受注状況好調の見通しから、株主還元策を追加

自己株式の消却

1,500万株を消却
消却実施日 2026年3月31日

社員還元

社員への株式付与制度の導入

自己株式活用へのエンゲージメント対策
制度設計等詳細は別途リリースを予定

< 2025年4月より >

持株会奨励金の引き上げ

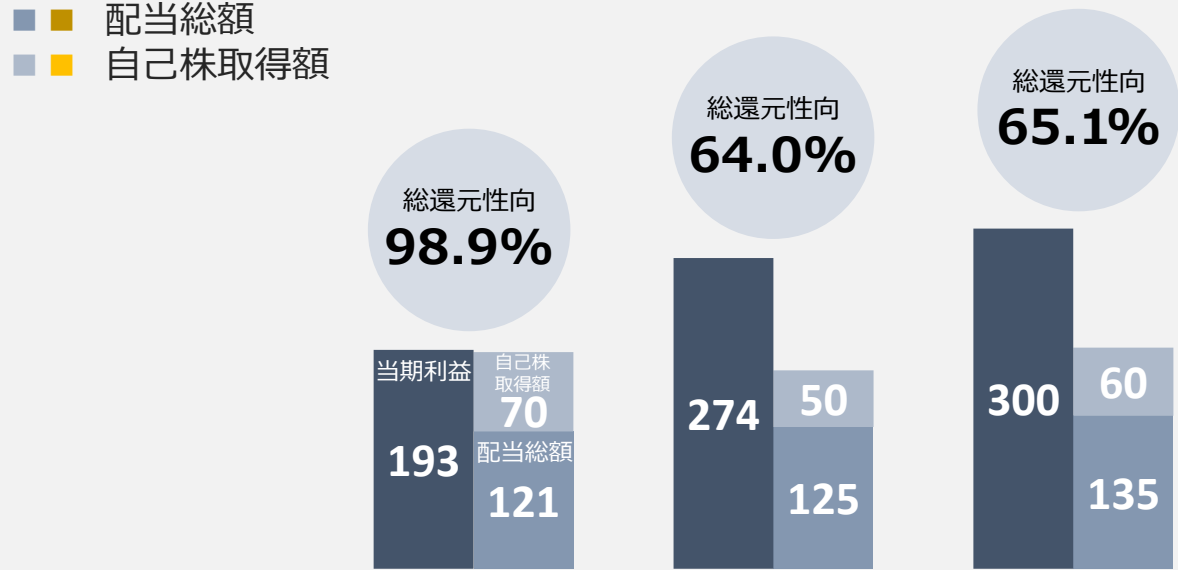
奨励金付与割合を5%から**20%**へ引き上げ
日本コムシス等一部グループ会社で展開

株主還元施策
(配当、自己株取得)

自己株取得枠を
100億円へ拡大

(単位：億円)

- 当期利益
- 配当総額
- 自己株取得額



コムシスグループ2030ビジョン

総還元性向 **77.1%**

総還元性向 **70%目安**

当期利益 310

自己株取得額 80 → 100

配当総額 139

		2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 (予定)	2027年3月期 以降
1株当たり 年間配当金	中間	50円	50円	55円	60円	毎期 5円以上 の増配
	期末	50円	55円	60円	60円	
	合計	100円	105円	115円	120円	
配当性向		63.0%	46.0%	45.4%	45.6%	-
総還元性向 配当額+自己株取得額 当期利益		98.9%	64.0%	65.1%	77.1% ↑ 70.6%	70%目安
ROE		5.7%	7.8%	8.2%	8.2%	10%を目指す (2031年3月期)
EPS		158.8円	228.4円	253.5円	263.3円	-

【参考】 配当金の推移

「コムシスグループ2030ビジョン」
毎年5円以上増配
をコミット

■会社設立以来
22期連続累進配当を予定
(2026.3期)

設立以来21期連続累進配当中

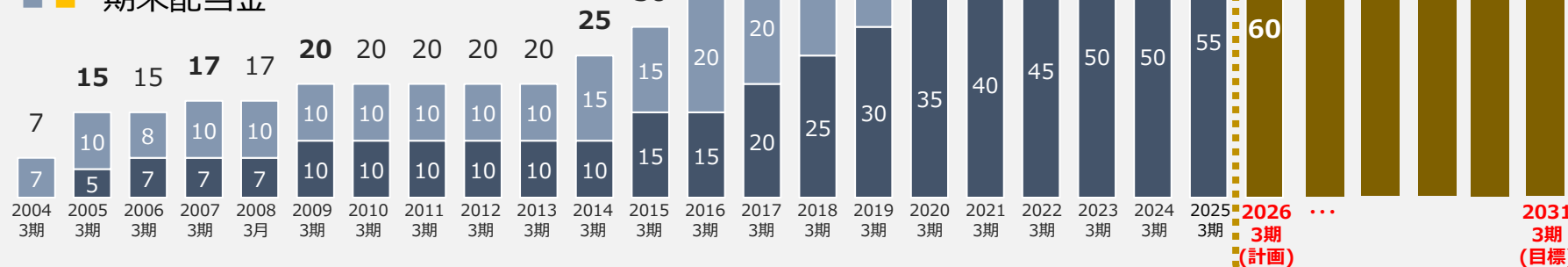
毎期5円以上
の増配をコミット

コムシスグループ
2030ビジョン

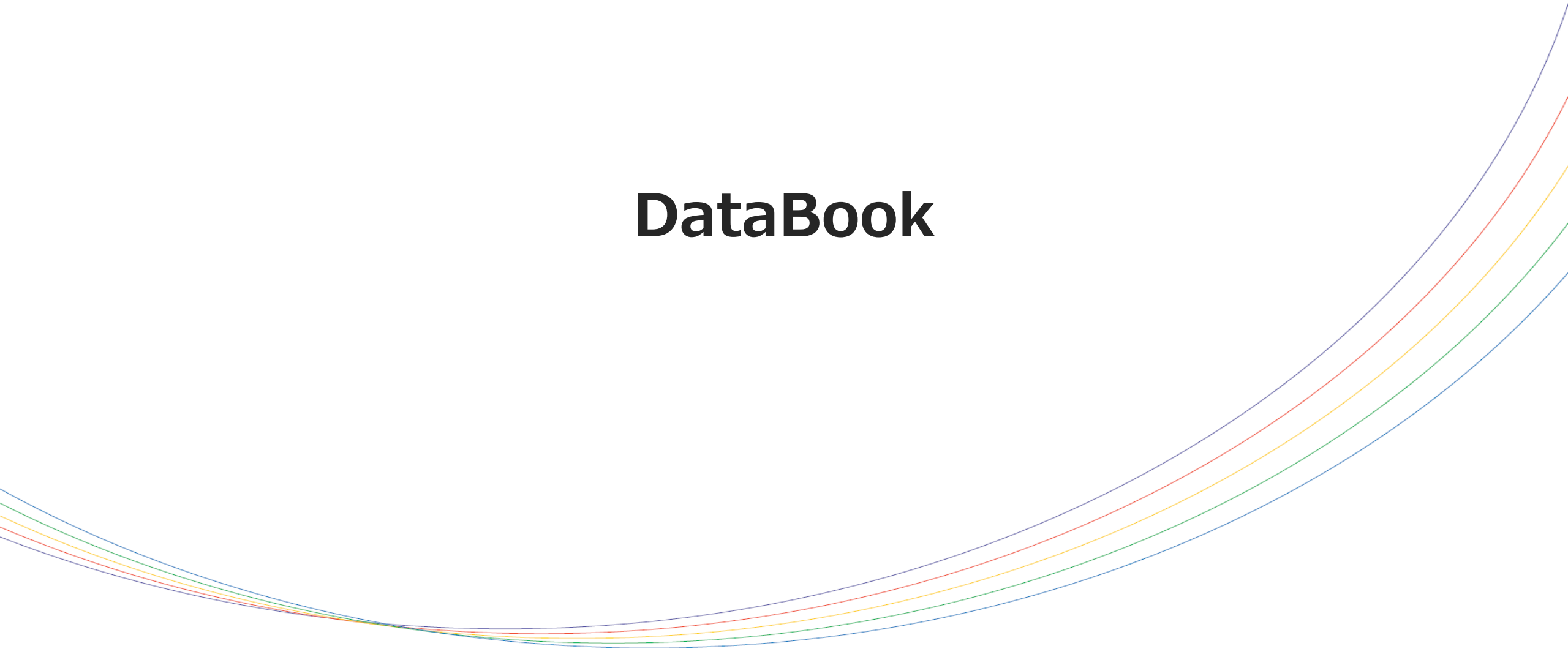
2014年3月期より
12期連続増配中

(単位：円)

■ 中間配当金
■ 期末配当金



DataBook



目次

- I．連結損益計算書【コムシスHD連結】**
- II．損益計算書【統括事業会社グループ別】**
- III．事業区分別 受注高・売上高・繰越高【コムシスHD連結】**
- IV．設備投資額・減価償却費の状況**
- V．連結貸借対照表（要約）**
- VI．連結キャッシュ・フロー（要約）**

＜計画に関する注記事項＞

本資料に記載されている予想値は、将来の予測であってリスクや不確定要素を含んだものです。従いまして、実際の業績等は、様々な要因により記載の内容とは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える重要な要因は、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社の提供するサービス等に対する需要動向や競争激化による価格下落圧力などです。なお、業績に影響を与える要因は、これらに限定されるものではありません。

I . 第 2 四 半 期 累 計 期 間 連 結 損 益 計 算 書 【コムシスHD連結】

(単位：億円)

	2 0 2 5 . 3		2 0 2 6 . 3				(参考) 2 0 2 5 . 3	
	上期実績		増減額(c)	増減率	通期計画	進捗率	通期実績	進捗率
	(a)	(b)						
受 注 高	3,257	3,215	▲42	▲1.3%	6,500	49.5%	6,388	51.0%
売 上 高	2,641	2,703	61	2.3%	6,200	43.6%	6,146	43.0%
売 上 総 利 益	348	372	24	6.9%	850	43.9%	842	41.4%
(利 益 率)	(13.2%)	(13.8%)	0.6p		(13.7%)		(13.7%)	
販 管 費	184	192	8	4.4%	400	48.1%	382	48.2%
営 業 利 益	164	180	15	9.7%	450	40.1%	459	35.7%
(利 益 率)	(6.2%)	(6.7%)	0.5p		(7.3%)		(7.5%)	
経 常 利 益	171	188	16	9.5%	460	40.9%	466	36.9%
(利 益 率)	(6.5%)	(7.0%)	0.5p		(7.4%)		(7.6%)	
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 中 間 (当 期) 純 利 益	108	126	18	16.7%	310	40.8%	300	36.1%
(利 益 率)	(4.1%)	(4.7%)	0.6p		(5.0%)		(4.9%)	

<本資料に関する注記事項>
◆ 記載金額は単位未満を切り捨てとしております。また、利益率、増減率、進捗率については円単位にて算出し、小数点第 2 位以下を四捨五入しております。

Ⅱ-1. 第2四半期累計期間 損益計算書【統括事業会社グループ別】

(単位：億円)

◆ 前年同期比			日本コムシス-G			サンコム-G			TOSYS-G			つうけん-G		
			2025.3 上期実績	2026.3 上期実績	増減額	2025.3 上期実績	2026.3 上期実績	増減額	2025.3 上期実績	2026.3 上期実績	増減額	2025.3 上期実績	2026.3 上期実績	増減額
受注高			1,716	1,688	▲27	105	160	55	192	214	22	440	338	▲101
売上高			1,314	1,365	50	195	132	▲62	165	175	9	312	293	▲18
売上総利益 (利益率)			167.3 (12.7%)	174.6 (12.8%)	7.2 0.1p	18.3 (9.4%)	8.1 (6.1%)	▲10.1 ▲3.3p	15.8 (9.6%)	19.0 (10.9%)	3.1 1.3p	48.2 (15.5%)	44.9 (15.3%)	▲3.2 ▲0.2p
販管費			88.6	91.8	3.2	11.8	8.7	▲3.1	9.2	10.9	1.6	19.3	19.4	0.0
営業利益 (利益率)			78.7 (6.0%)	82.7 (6.1%)	4.0 0.1p	6.5 (3.4%)	▲0.5 (▲0.4%)	▲7.0 ▲3.8p	6.6 (4.0%)	8.1 (4.6%)	1.4 0.6p	28.8 (9.2%)	25.5 (8.7%)	▲3.3 ▲0.5p
経常利益 (利益率)			82.2 (6.3%)	85.4 (6.3%)	3.2 0.0p	6.7 (3.5%)	▲0.1 (▲0.1%)	▲6.9 ▲3.6p	7.8 (4.7%)	9.1 (5.2%)	1.3 0.5p	29.1 (9.3%)	25.8 (8.8%)	▲3.3 ▲0.5p
親会社株主に帰属する 中間純利益 (利益率)			50.7 (3.9%)	56.0 (4.1%)	5.3 0.2p	15.3 (7.8%)	▲0.2 (▲0.2%)	▲15.5 ▲8.0p	5.2 (3.2%)	5.8 (3.3%)	0.5 0.1p	20.0 (6.4%)	51.1 (17.4%)	31.0 11.0p

◆ 通期計画比			日本コムシス-G			サンコム-G			TOSYS-G			つうけん-G		
			2026.3 通期計画	2026.3 上期実績	進捗率	2026.3 通期計画	2026.3 上期実績	進捗率	2026.3 通期計画	2026.3 上期実績	進捗率	2026.3 通期計画	2026.3 上期実績	進捗率
受注高			3,450	1,688	49.0%	375	160	42.9%	390	214	55.0%	651	338	51.9%
売上高			3,200	1,365	42.7%	365	132	36.4%	385	175	45.5%	639	293	45.9%
売上総利益 (利益率)			404 (12.6%)	174.6 (12.8%)	43.2%	29 (8.2%)	8.1 (6.1%)	27.3%	49 (12.9%)	19.0 (10.9%)	38.4%	98 (15.4%)	44.9 (15.3%)	45.8%
販管費			184	91.8	49.9%	18	8.7	47.5%	21	10.9	50.8%	39	19.4	49.9%
営業利益 (利益率)			220 (6.9%)	82.7 (6.1%)	37.6%	11 (3.2%)	▲0.5 (▲0.4%)	▲4.6%	28 (7.3%)	8.1 (4.6%)	28.9%	59 (9.3%)	25.5 (8.7%)	43.0%

◆ 統括事業会社グループ間取引については、相殺消去しておりません。

◆ 2025年7月に実施した子会社間の事業再編に伴い、「つうけん-G」通期計画値の一部を「コムシス情報システム-G」の通期計画値へと移行しております。

Ⅱ-2. 第2四半期累計期間 損益計算書【統括事業会社グループ別】

(単位：億円)

◆ 前年同期比			NDS-G			SYSKEN-G			北陸電話工事-G			コムシス情報システム-G		
			2025.3 上期実績	2026.3 上期実績	増減額	2025.3 上期実績	2026.3 上期実績	増減額	2025.3 上期実績	2026.3 上期実績	増減額	2025.3 上期実績	2026.3 上期実績	増減額
受注高			504	465	▲38	171	173	2	113	96	▲16	103	178	75
売上高			404	433	29	145	148	2	79	83	4	89	147	57
売上総利益 (利益率)			59.1 (14.6%)	70.1 (16.2%)	10.9 1.6p	16.6 (11.4%)	20.9 (14.1%)	4.3 2.7p	9.6 (12.1%)	15.3 (18.3%)	5.7 6.2p	13.4 (15.1%)	22.7 (15.4%)	9.2 0.3p
販管費			34.8	36.9	2.0	10.6	13.4	2.7	6.1	6.8	0.6	5.6	9.1	3.4
営業利益 (利益率)			24.2 (6.0%)	33.1 (7.6%)	8.8 1.6p	6.0 (4.1%)	7.5 (5.1%)	1.5 1.0p	3.5 (4.4%)	8.5 (10.2%)	5.0 5.8p	7.8 (8.8%)	13.6 (9.2%)	5.7 0.4p
経常利益 (利益率)			26.2 (6.5%)	35.6 (8.2%)	9.4 1.7p	7.1 (4.9%)	8.5 (5.8%)	1.4 0.9p	3.7 (4.7%)	8.7 (10.4%)	5.0 5.7p	7.8 (8.8%)	13.7 (9.4%)	5.9 0.6p
親会社株主に帰属する 中間純利益 (利益率)			16.0 (4.0%)	25.0 (5.8%)	8.9 1.8p	4.3 (3.0%)	6.0 (4.1%)	1.7 1.1p	2.4 (3.1%)	6.3 (7.5%)	3.8 4.4p	4.7 (5.3%)	8.5 (5.8%)	3.8 0.5p

◆ 通期計画比			NDS-G			SYSKEN-G			北陸電話工事-G			コムシス情報システム-G		
			2026.3 通期計画	2026.3 上期実績	進捗率	2026.3 通期計画	2026.3 上期実績	進捗率	2026.3 通期計画	2026.3 上期実績	進捗率	2026.3 通期計画	2026.3 上期実績	進捗率
受注高			890	465	52.4%	360	173	48.3%	195	96	49.7%	356	178	50.3%
売上高			890	433	48.7%	355	148	41.7%	195	83	43.1%	333	147	44.2%
売上総利益 (利益率)			132 (14.9%)	70.1 (16.2%)	53.0%	46 (13.0%)	20.9 (14.1%)	45.4%	29 (15.2%)	15.3 (18.3%)	51.9%	54 (16.5%)	22.7 (15.4%)	41.4%
販管費			73	36.9	50.3%	27	13.4	48.7%	14	6.8	48.3%	20	9.1	45.2%
営業利益 (利益率)			58 (6.6%)	33.1 (7.6%)	56.4%	18 (5.3%)	7.5 (5.1%)	40.4%	15 (8.0%)	8.5 (10.2%)	55.0%	34 (10.4%)	13.6 (9.2%)	39.2%

◆ 統括事業会社グループ間取引については、相殺消去しておりません。
◆ 2025年7月に実施した子会社間の事業再編に伴い、「つうけん-G」通期計画値の一部を「コムシス情報システム-G」の通期計画値へと移行しております。

Ⅲ. 事業区分別 受注高・売上高・繰越高【コムシスHD連結】

(単位：億円)

◆ 受 注 高 (第 2 四半期累計)		2 0 2 5 . 3	2 0 2 6 . 3					(参考) 2 0 2 5 . 3	
		上期実績 (a)	上期実績 (b)	増減額(c) (b)-(a)	増減率 (c)/(a)	通期計画 (d)	進捗率 (b)/(d)	通期実績 (e)	進捗率 (a)/(e)
事業区分									
N T T 設備事業	アクセス	883	818	▲65	▲7.4%	1,680	48.7%	1,665	53.0%
	ネットワーク	136	125	▲11	▲8.2%	290	43.2%	284	48.0%
	モバイル	216	301	85	39.5%	470	64.2%	453	47.7%
	小 計	1,236	1,245	9	0.7%	2,440	51.0%	2,403	51.4%
N C C 設備事業		215	223	7	3.5%	450	49.7%	451	47.9%
I T ソリューション事業		567	704	137	24.2%	1,350	52.2%	1,323	42.8%
社会システム関連事業		1,238	1,041	▲196	▲15.9%	2,260	46.1%	2,209	56.0%
合 計		3,257	3,215	▲42	▲1.3%	6,500	49.5%	6,388	51.0%

◆ 売 上 高 (第2四半期累計)		2025. 3	2026. 3					(参考) 2025. 3	
		上期実績 (a)	上期実績 (b)	増減額(c) (b)-(a)	増減率 (c)/(a)	通期計画 (d)	進捗率 (b)/(d)	通期実績 (e)	進捗率 (a)/(e)
事業区分									
N T T 設備事業	アクセス	752	774	22	3.0%	1,620	47.8%	1,612	46.6%
	ネットワーク	107	107	0	0.5%	270	39.9%	266	40.3%
	モバイル	157	180	22	14.6%	490	36.9%	418	37.7%
	小 計	1,017	1,063	46	4.5%	2,380	44.7%	2,296	44.3%
N C C 設備事業		210	170	▲39	▲18.8%	450	37.9%	490	42.8%
I T ソリューション事業		490	556	65	13.4%	1,300	42.8%	1,245	39.4%
社会システム関連事業		924	913	▲10	▲1.1%	2,070	44.1%	2,113	43.7%
合 計		2,641	2,703	61	2.3%	6,200	43.6%	6,146	43.0%

◆ 繰 越 高 (第2四半期累計)		2025.3	2026.3		
		上期実績 (a)	上期実績 (b)	増減額(c) (b)-(a)	増減率 (c)/(a)
事業区分					
N T T 設備事業	アクセス	404	369	▲34	▲8.5%
	ネットワーク	156	162	6	4.3%
	モバイル	313	411	97	31.2%
	小 計	874	944	70	8.0%
N C C 設備事業		229	237	7	3.3%
I T ソリューション事業		453	602	149	33.1%
社会システム関連事業		1,466	1,376	▲89	▲6.1%
合 計		3,023	3,161	137	4.6%

◆シェアリング事業者からの受注高・売上高・繰越高について、集計区分をNTT設備事業からNCC設備事業へ変更しております。本表では前期との比較をするために、前期実績値を変更後に補正して表示しています。

(参考) 2025.3期 事業区分別 受注高・売上高・繰越高【コムシスHD連結】

(単位：億円)

◆ 受 注 高		2025. 3			
		1 Q実績	上期実績	3 Q実績累計	通期実績
事業区分					
N T T 設 備 事 業	アクセス	481	883	1,301	1,665
	ネットワーク	54	136	206	284
	モバイル	108	216	338	453
	小 計	644	1,236	1,846	2,403
N C C 設 備 事 業		114	215	349	451
I Tソリューション事業		313	567	998	1,323
社会システム関連事業		707	1,238	1,634	2,209
合 計		1,779	3,257	4,829	6,388

◆ 売 上 高		2025. 3			
		1 Q実績	上期実績	3 Q実績累計	通期実績
事業区分					
N T T 設 備 事 業	アクセス	380	752	1,153	1,612
	ネットワーク	50	107	168	266
	モバイル	70	157	265	418
	小 計	502	1,017	1,587	2,296
N C C 設 備 事 業		95	210	327	490
I Tソリューション事業		200	490	805	1,245
社会システム関連事業		452	924	1,457	2,113
合 計		1,251	2,641	4,177	6,146

◆ 繰 越 高		2025. 3			
		1 Q実績	上期実績	3 Q実績累計	通期実績
事業区分					
N T T 設 備 事 業	アクセス	373	404	421	326
	ネットワーク	130	156	164	145
	モバイル	293	313	328	238
	小 計	797	874	914	709
N C C 設 備 事 業		242	229	246	237
I Tソリューション事業		489	453	569	454
社会システム関連事業		1,406	1,466	1,329	1,247
合 計		2,936	3,023	3,059	2,649

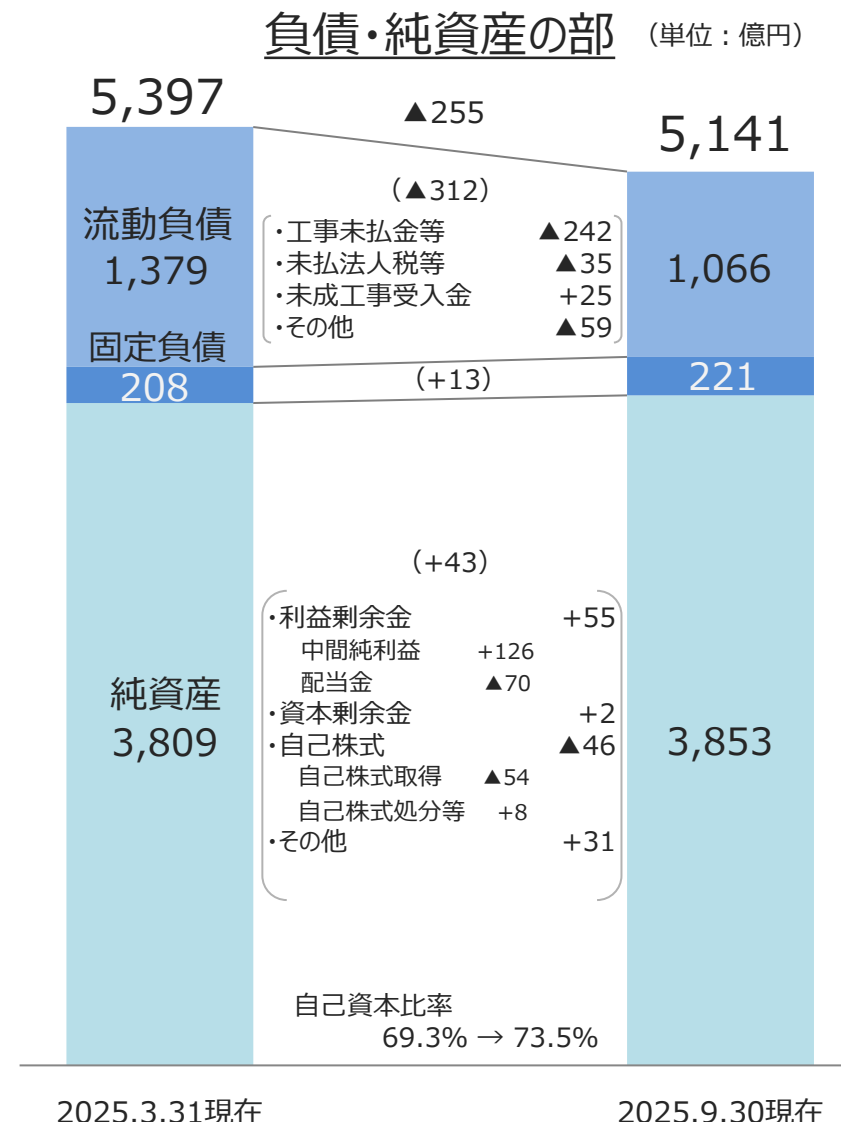
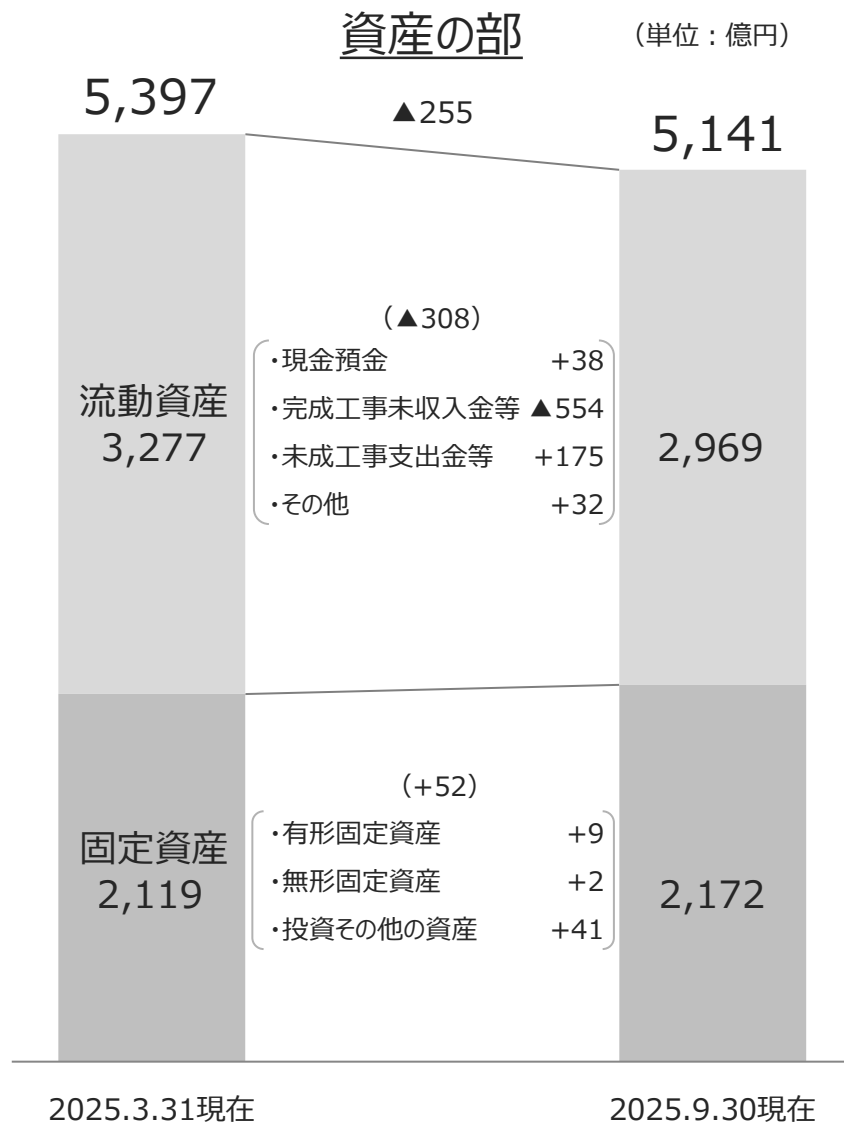
◆シェアリング事業者からの受注高・売上高・繰越高について、集計区分をNTT設備事業からNCC設備事業へ変更しております。本表では実績値を変更後に補正して表示しています。

IV. 設備投資額・減価償却費の状況

(単位：億円)

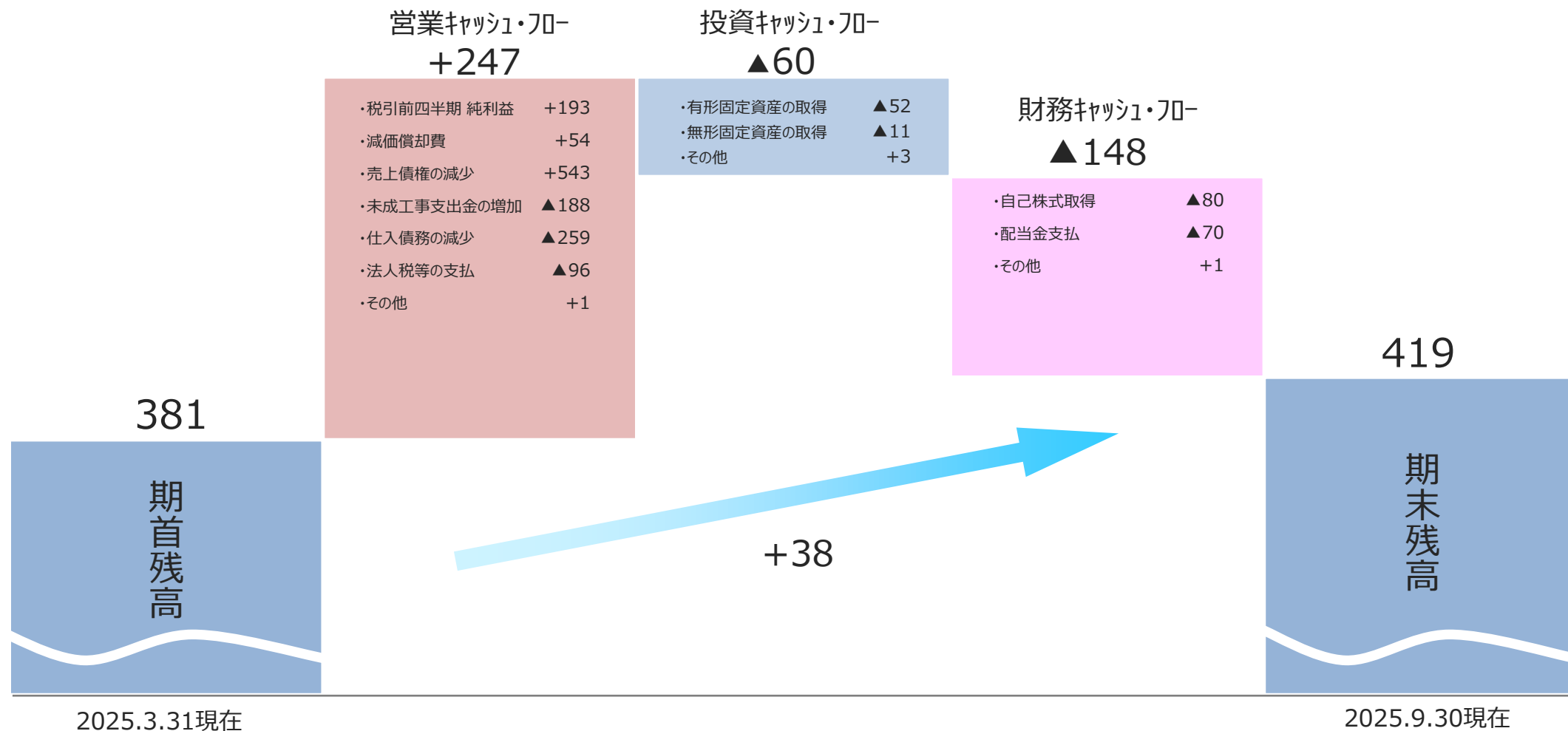
		2025.3	2026.3		2026.3	
		上期実績	上期実績	対前期比		通期計画
				増減額	増減率	進捗率
設備投資額	有形固定資産	32	53	20	62.9%	140
	無形固定資産	4	11	7	168.0%	30
	合計	37	64	27	75.2%	170
減価償却費		56	54	▲1	▲3.4%	120
						45.2%

V. 連結貸借対照表 (要約)



VI. 連結キャッシュ・フロー（要約）

（単位：億円）



留意事項

本資料及び本説明会における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、
将来の予測であってリスクや不確定要素を含んだものであります。
従いまして、実際の業績等は、様々な要因により記載の内容とは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。
実際の業績に影響を与える重要な要因は、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、社会的動向、
当社の提供するサービス等に対する需要動向や競争激化による価格下落圧力などです。
なお、業績に影響を与える要因は、これらに限定されるものではありません。



コムシスグループ経営理念

「豊かな生活を支えるインフラづくり」で社会の発展に貢献します

「未来をになうエンジニアリング」でお客様に選ばれ続ける企業を創ります

たゆまない改革を続けさらなる企業価値の向上を目指します

ありたい姿

「通信基盤づくり×ITシステムづくり×社会システムづくり＝無限の可能性」で
新たな価値を届けるリーディングカンパニー

コムシスグループの1つ1つの事業を大事にしながら、事業の掛けあわせ（×：掛ける）により、
様々な社会の課題解決、社会の発展に貢献するグループであり続けます。

（お問い合わせ先）

コムシスホールディングス株式会社

I R 部

TEL：03-3448-7000

FAX：03-3448-7001

Mail to：chd-ir@comsys.co.jp

URL：https://www.comsys-hd.co.jp/